

医療費無料化 18歳まで拡大を!

日本共産党区議団が条例提案

日本共産党区議団は、新宿区議会第2回定例会に子どもの医療費無料化を現在の15歳（中学3年生）から18歳（高校3年生）まで拡大するため、「新宿区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」を提案しましたが、賛成少数で残念ながら否決されました。（表を参照）

条例提案に対する各会派の賛否

自民	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	ちい声
反対	反対	提案者	反対	反対	賛成	反対	賛成

自民＝自由民主党新宿区議会議員団 公明＝新宿区議会公明党 共産＝日本共産党新宿区議会議員団 民無ク＝立憲民主党・無所属クラブ	新宿会＝新宿未来の会 社民＝社民党新宿区議会議員団 スタ新＝スタートアップ新宿 ちい声＝ちいさき声をすくいあげる会
---	--



本会議で条例を説明する藤原議員



委員会での質疑を行う高月議員



川村副委員長が委員会での質疑を行う様子

●子どもが家計を気にして受診抑
担が重くなること

●子どもの年齢が高くなるほど教育費がかかり、保護者の経済的負担が重くなること

●子どもが家計を気にして受診抑担が重くなること

医療費無料化を18歳以上に拡大している自治体の数(全国の自治体数は1747)

	入院費	通院費
2017年	515 (29.6%)	478 (27.4%)
2018年	589 (32.4%)	544 (31.2%)
2019年	718 (41.2%)	662 (38.0%)

文教子ども委員
会では、提出者を
代表して雨宮武彦
議員が説明を行い、
子どもの医療費無料化を現在の15
歳までを18歳までに拡大する自治
体が全国的に広がっていることを
紹介し、23区では北区、品川区が
入院費を、千代田区が通院・入院
費を所得制限なしで助成しており、
新宿では約1億5000万円程度
で実現可能と訴えました。



質疑では、川村のりあき委員、高月まな委員の質問に対しては、沢田あゆみ議員が答弁し、

●子どもが家計を気にして受診抑担が重くなること



公明党の委員は、「東京都の動向を注視しながら、事業が実現化された場合は都と連携を。」などと発言。自民党や民無クの委員からの発言はなく、制度そのものに反対する意見は出されませんでした。

制をする
場合があ
ること
●コロナ
禍でこそ
必要な支
援である
こと

など、提案した理由を説明し、武蔵野市が所得制限無しで18歳まで無償化（今年4月から入院費、来年4月から通院費）に踏み切ったことを紹介。都議選に向けて複数政党が公約に掲げており、新宿区が実施することで東京都の背中を押すことになると賛同を求めました。



委員会での答弁を行う沢田議員

日本共産党新宿区議団は7名になりました!



私たち日本共産党新宿区議団は、4月30日、あざみ民栄議員の当選が確定し（田中のりひで氏が2月に逝去したため）、7名の区議団となりました。NHKから国民を守る党の松田みき氏が、公職選挙法で定める立候補要件の3か月以上の居住実態がなく、新宿区選挙管理委員会も東京都選挙管理委員会も当選無効としたにもかかわらず、2年もの間区議会議員として居座り続け、最高裁の判決が出る直前になって訴えを取り下げ、当選無効が確定したのです。松田氏とN国党の行為は、区民を欺き民主主義を蹂躪するものであり、断じて許すことはできません。区民の命とくらしを守るため、7名の区議団が全力で取り組む決意です。

